WTC ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会
（ 神奈川県横浜市 ）

報 告

日　時:2021年5月16日(日)
スタート:8時15分 (2人5秒刻みローリングスタート方式)
参加者数:800人
距　離:スタンダード(51.5km)
結　果:総合18位(年齢別2位) 総合タイム 2時間08分13秒
https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2021result_standard.pdf
スイム1.5km 23分31秒(34)
バイク40km 1時間05分20秒(16)
ラン 10km 35分47秒(31)

今シーズン 3 レース目。緊急事態宣言下の地域に、広島県でもこの日から発令される社会情勢の中ではあったが、トライアスロン界はコロナ過でも対応できるシステムを構築できているスポーツになり、国際レースとして開催されている。さすがに無観客体制でいつもの盛大さはないが、今できる最高の環境で命を発動することができたことは感謝しかない。個人的には勝ちに行くと取り組んでいた。結果は一致しなかったが、今の自分の状況を改めて把握でき、これからのレースへの取り組み方、世界で戦える選手としてはまだまだ甘さがあることを痛感できた。今後の生き方と姿勢を正していくスタートラインに立てたのだと思っている。失敗を糧に！トライアスロンはレースが完璧だったことなどない。常に何かある。完璧へと近づける追求心も魅力だろう。あくなき追求を止めてはだめだ。ベテランではあるがこのことを忘れないよう今後とも精進していきたい。

以下、当日の晩に SNS へ発信した想い。

アジア選手権では個人的なアクシデントで勝つには相応しくなく結果 2 位。今回も同じ選手に届かなく 2 位。スタートカテゴリーが違う組ではあるが負けは負け。完全に相手が上手と証明された。
23 秒差…なんとかならなかったかと思わず負けず嫌いな性格が出てしまう…
妻がこんなことを言った。彼とは今年 1 年しか同じカテゴリー(来年から私は 50 歳カテゴリー)で競うことができないため、『テツローさんにとって本気にしてくれる人がまた現れたね！』と。進化成長できるきっかけになればと私も想います。
今回負けはしたが、特にランで手答えを感じる。先般の 2 レースで走れてなく、実力低下を感じていた。お年寄りには負担は大きいが薄底シューズで挑戦！
残り 2km 辺りで大腿前面(内側広筋)が痙攣し出すが、完全アウトにならないようストライドを狭めあきらめずゴールを目指せたことは考えると楽しかったのかな。
まぁ、その分消耗したレースでゴール後の姿はあの有様。50 手前の男がぶっ倒れる位出し切ることが出来るのは幸せな事なのだと想う。
各方面からのご声援・応援、本当にありがとうございました。

プロマインド トライアスリート 福元テツロー


NISSHIN
oillio




1536


SPECIALIZED


Inspire Your Soul
YOKOHAMA


1536
YOKOHAMA